

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	令和8年3月 日
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	阿南町 204048
地域名 (地域内農業集落名)	大下条地域 (大下条地区)

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	138 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	99 ha
② 田の面積	65 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	73 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	23 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	38 ha
(参考)区域内における-才以上の農業者の農地面積の合計	- ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	- ha
(備考)遊休農地面積31ha(うち1号遊休農地31ha、2号遊休農地0ha) ⑤は、大下条で引き受ける意向のあるすべての農地面積の合計。	

(2) 地域農業の現状及び課題

当地区は、集団的でまとまりのある農地が少なく、有害鳥獣による農作物被害や、人口減少と高齢化に伴う農業者の減少が進んでいる。また、販売農家が少なく、1経営体あたりの耕地面積が町内でも少ない地域である。

比較的まとまった農地は中山間等の集落営農や法人受託により農地を維持しているのが現状であり、持続的に農地の利用を図りながら地域の活性化を進めるためには、集落営農の更なる推進と、担い手法人への支援、農地維持のため小規模販売農家への支援等が必要である。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

個々の農家で農地を維持していくことは難しく、法人や集落営農組織によって集団的に農地維持を行う。

担い手への農地の集約化に配慮しつつ、農業を担う者への農地の再分配を進めることができるよう必要な条件整備を実施し、地域と担い手が一体となって農地を利用していく体制の構築を図る。

小規模農家による農地維持のため、有害鳥獣駆除対策協議会と連携し、有害鳥獣対策を実施し被害軽減を図る。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針

農業を担う者、法人、集団的農業経営体への農地の集積・集約化を基本とする。

(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標

現状の集積率	7.8%	%	将来の目標とする集積率	25	%
--------	------	---	-------------	----	---

(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標

農地中間管理機構を通じて引き続き農業を担う者、法人、集団的農業経営体への集積・集約化を進め、団地数の維持または減少、団地面積の拡大を進める。

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組

農業を担う者、法人、集団的農業経営体を中心に農地集積を進める。

(2)農地中間管理機構の活用方法

対象農地の場所や担い手等の経営意向を勘査し、段階的に集約化を進める。

(3)基盤整備事業への取組

県営中山間総合整備事業により計画的に基盤整備を進める。

(4)多様な経営体の確保・育成の取組

関係機関と連携し、地域外から営農を望む経営体を募集し、栽培技術や農業用機械のレンタルなどの支援や生産する農地をあっせんし、相談から定着まで切れ目のない取り組みを展開する。

(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組

作業の効率化が期待できる防除作業は、法人への委託を進める。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input type="checkbox"/>	①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/>	②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/>	③スマート農業	<input type="checkbox"/>	④畠地化・輸出等	<input type="checkbox"/>	⑤果樹等
<input type="checkbox"/>	⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/>	⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/>	⑧農業用施設	<input type="checkbox"/>	⑨耕畜連携等	<input checked="" type="checkbox"/>	⑩その他

【選択した上記の取組内容】

①イノシシやシカ、サルの被害が拡大しないよう対策を講ずるとともに、目撃情報や被害情報があった場合には速やかに対応できる体制を構築する。併せて地域内外から捕獲人材の確保・育成を進める。

⑩集団的農業経営体を中心に農用地の集積を進める。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 16 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
別紙のとおり									
計	0経営体		0 ha	0 ha		0 ha	0 ha		

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

大下条

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 16 年度)			
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上 の表示
1 利	9O	野菜	0.2 ha	ha	野菜	0.2 ha	ha	9O
2 利	5S	水稻・野菜	8.9 ha	ha	水稻・野菜	8.9 ha	ha	5S
3 利	6Y	水稻・野菜	0.7 ha	ha	水稻・野菜	0.7 ha	ha	6Y
4 利	6R	水稻・野菜	0.8 ha	ha	水稻・野菜	0.8 ha	ha	6R
5 利	8U	水稻・野菜	1.3 ha	ha	水稻・野菜	1.3 ha	ha	8U
6 利	6S	水稻・野菜	0.5 ha	ha	水稻・野菜	0.5 ha	ha	6S
7 利	6A	水稻・その他	3.2 ha	ha	水稻・その他	3.2 ha	ha	6A
8 利	2T	水稻・野菜	1.8 ha	ha	水稻・野菜	1.8 ha	ha	2T
9 利	8K	野菜	0.4 ha	ha	野菜	0.4 ha	ha	8K
10 利	77G	水稻・野菜	0.1 ha	ha	水稻・野菜	0.1 ha	ha	77G
11 利	(10G)	水稻・野菜	0.2 ha	ha	水稻・野菜	0.2 ha	ha	(10G)
12 利	7A	水稻・野菜	0.3 ha	ha	水稻・野菜	0.3 ha	ha	7A
13 到達	3W	水稻・野菜	1.9 ha	ha	水稻・野菜	1.9 ha	ha	3W
14 利	(10C)	水稻	0.4 ha	ha	水稻	0.4 ha	ha	(10C)
15 利	6X	水稻	0.7 ha	ha	水稻	0.7 ha	ha	6X
16 利	76F	水稻・野菜	1.1 ha	ha	水稻・野菜	1.1 ha	ha	76F
17 認農	5Y	その他	3.7 ha	ha	その他	3.7 ha	ha	5Y
18 利	3T	水稻	0.6 ha	ha	水稻	0.6 ha	ha	3T
19 利	(10G)	水稻	0.9 ha	ha	水稻	0.9 ha	ha	(10G)
20 利	2U	水稻	3.2 ha	ha	水稻	3.2 ha	ha	2U
21 利	6Q	水稻・野菜	0.5 ha	ha	水稻・野菜	0.5 ha	ha	6Q
22 利	6V	野菜	0.5 ha	ha	野菜	0.5 ha	ha	6V
23 利	7B	水稻・野菜	1.7 ha	ha	水稻・野菜	1.7 ha	ha	7B
24 集	10D	水稻・野菜	1.5 ha	ha	水稻・野菜	1.5 ha	ha	10D
25 集	10G	水稻・野菜	7.0 ha	ha	水稻・野菜	7.0 ha	ha	10G
26 集	10F	水稻・野菜	7.2 ha	ha	水稻・野菜	7.2 ha	ha	10F
27 集	10C	水稻・野菜	1.5 ha	ha	水稻・野菜	1.5 ha	ha	10C
28 集	10E	水稻・野菜	3.9 ha	ha	水稻・野菜	3.9 ha	ha	10E
計		28経営体	54.7 ha	ha	54.7 ha	ha		